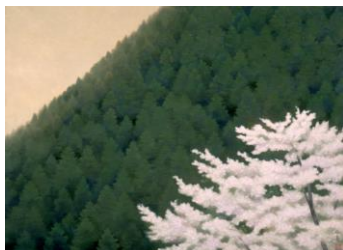


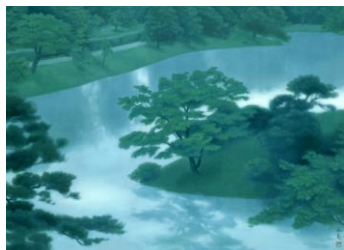
【展覧会】 【特別展】没後25年記念 東山魁夷と日本の夏

ホームページ 専用チケット

- 会 期 2024年7月20日(土)～9月23日(月・振休)【66日間 休館日含む】
休館日:月曜日 [8/12(月・振休)、9/16(月・祝)、9/23(月・振休)は開館、8/13(火)、9/17(火)は休館 ※予定]
- 会 場 山種美術館
- 開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 会員料金 1枚 700円(通常料金1,400円)
- 申込方法 mail(info@akishima-ksk.jp)でお申し込みください。(電話、FAX、受付不可)
①事業所名 ②会員氏名 ③連絡先 ④チケットNo.と数
⑤郵送希望の場合、住所、郵送着時間帯を明記してメールでお申し込みください。
- 幹旋枚数 10枚(先着順)
- チケットのお渡し 申込の際、お伝えします。振込していただければチケットは郵送します。
振込料はご負担願います。送料は共済会で負担します。
- 注意事項 ※中学生以下は無料(付添者の同伴が必要です)※障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料
※今後の諸事情により、開館日、開館時間等を変更する場合がございます。
※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。
最新情報は、展覧会公式サイトにてご確認ください。
展覧会公式サイト<https://www.yamatane-museum.jp/>



東山魁夷《春静》1968(昭和43)年
紙本・彩色 山種美術館



東山魁夷《緑潤う》1976(昭和51)年
紙本・彩色 山種美術館



東山魁夷《秋彩》1986(昭和61)年
紙本・彩色 山種美術館



東山魁夷《年暮る》1968(昭和43)年
紙本・彩色 山種美術館

【特別展】没後25年記念 東山魁夷と日本の夏

四季を通じて自然との対話を重ね、数多くの風景を描いた東ひがし山やま魁かい夷い(1908-1999)。海や山、森や湖などを詩情豊かに表した作品は、没後四半世紀を経た今も人々の心を惹きつけています。このたび山種美術館では、所蔵する魁夷の作品を全19点公開し、画家の特徴的な魅力である季節感にあふれた風景作品をご紹介します。さらに開催時期となる夏にあわせ、浮世絵から近代日本画にいたるまで夏をテーマにした作品や、暑いさなかにも涼しさを感じられる名作を取り揃え、ご紹介する展覧会を開催します。

1908(明治41)年、横浜で生まれた魁夷は、東京美術学校で日本画を学んだ後ドイツに留学し、戦後は画風の模索を続けながらも真摯に自然と向き合い、風景画家としての地位を築きます。その後は、北欧への旅を経て日本の伝統美へと回帰していく中で、清澄で叙情性に満ちた独自の画風を確立しました。

特に、皇居宮殿を飾る魁夷の壁画を見た当館初代館長の山崎種二が、ひろく人々が鑑賞できるようにと、魁夷に制作を依頼した同趣作品《満ち来る潮》は、普遍的な日本の海のイメージや、伝統的な日本絵画の装飾性が融合した幅9メートルの大作です。また、「京洛四季」は、作家・川かわ端ばた康やす成りりの言葉を契機に、古都の風情と繊細な季節のうつろいを見事に捉えた連作で、このような当館蔵の魁夷の代表作が一堂に揃うのは、4年振りになります。

本展では、青と白の海原の表現から清涼感を感じられる東山魁夷の《満ち来る潮》をはじめ、夏の夕立を表した歌うた川がわ広ひろ重しげの浮世絵《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》や、浴衣姿の女性のふとした仕草を描いた上うえ村むら松しょう園えんの《蛭》など、目にも涼やかな作品を取り揃えています。東山魁夷の風景画と日本の夏を描いた名作を通じ、一服の涼を感じていただける展覧会です。